

平成 30 年度 コンテンツ産業新展開強化事業  
(我が国コンテンツの海外展開を図るための多様な資金調達手法に関する検証事業)

## 脚本制作委託契約

---

アンダーソン・毛利・友常法律事務所 弁護士

山内 真之

宮川 賢司

伊藤 美奈子

## 目 次

1. はじめに .....	2
2. 脚本制作委託契約書サンプルとその解説 .....	2
脚本制作委託契約書サンプル .....	2
(対象業務) .....	3
(協力義務) .....	4
(脚本料) .....	5
(権利の帰属) .....	8
(クレジット) .....	9
(知的財産権を侵害しないことの保証) .....	10
(救済方法の制限) .....	10
(権利義務の譲渡) .....	10
(秘密保持) .....	11
(解除) .....	12
(裁判管轄) .....	13

## 1. はじめに

この契約書サンプルは、当初から映画製作に用いることを前提として、脚本家に脚本の執筆を依頼する場面で用いることを想定したものです。そして、この想定に基づいて、この契約書サンプルでは、業務委託の建て付けで、第1条に記載の対象業務について、甲（製作会社）が乙（脚本家）に脚本の執筆を依頼する旨を規定しています。

また、一般に、既存の小説等の作品（原作）をベースに映画を製作する場合には、原作者に著作権が留保されることが通常ですが、この契約書サンプルでは、上述のとおり、当初から映画製作に用いることを前提とした脚本執筆の依頼という建て付けにしているため、第4条（権利の帰属）において、著作権を含めて、脚本に関する権利が甲（製作会社）に帰属することとしています。もし、脚本家側に権利が帰属する形での執筆依頼を行う場合には、協同組合日本シナリオ作家協会が公開している脚本契約書サンプル等をご参照ください<sup>1</sup>。

なお、本サンプルはあくまでもひとつの例であり、このまますべてのケースで使用できるものではありません。実際に契約交渉や取引を行う際には、弁護士などの専門家にご相談のうえ、それぞれの事情を踏まえた契約書を作成して使用するようになしてください。

## 2. 脚本制作委託契約書サンプルとその解説

### 脚本制作委託契約書サンプル

製作会社（以下「甲」という。）と脚本家（以下「乙」という。）とは、甲が製作する映画「●●●●●●●●●●」（以下「本映画」という。）のために乙が脚本を執筆することに関して、以下のとおり契約（以下「本契約」という。）を締結する。

### Script Agreement

XXXXXX (the “Producer”) and XXXXXX (the “Scriptwriter”) hereby execute this agreement (the “Agreement”) concerning the Scriptwriter writing the script for the movie “XXXXXXXXXXXX” to be produced by the Producer (the “Movie”).

---

<sup>1</sup> 日本シナリオ作家協会の以下の Web ページから脚本契約書や発注書等のサンプルをダウンロードすることができる（参考 URL : <http://www.j-writersguild.org/entry.html?id=26714>）。

本契約書サンプルは日本語及び英語を併記する形で記載しておりますが、英文契約書は日本語契約書の翻訳であることにご注意ください。

(対象業務)

第1条 甲は乙に対し、甲が製作する本映画のために、その脚本（以下「本脚本」という。）の執筆業務（以下「対象業務」という。）を依頼し、乙はこれを承諾する。

2 甲は乙に対し、1回ないし複数回の書き直しまでは至らない修正（以下「リライト」という。）を要請することができ、乙はこれに応じてリライトするものとする。

3 本脚本とは、乙が甲に最初に提出し、甲により採用された脚本（以下「第1稿」という。）及び前項の甲のリライト要請に応じて乙によってリライトされた全ての脚本を含む。

4 対象業務は、本脚本に対する甲の検査合格により、完了する。

5 乙は、対象業務の全部又は一部を第三者に再委託することはできない。

#### **Article 1. Service:**

1. The Producer requests the Scriptwriter to provide service to write the script (the “Script”) for the Movie to be produced by the Producer (the “Service”) and the Scriptwriter accepts this request.

2. The Producer may request the Scriptwriter modifications that do not constitute a complete rewriting (the “Modification”) once or for more times and the Scriptwriter shall make Modifications in response to such requests.

3. The Script shall include the script that the Scriptwriter first submits to the Producer and is adopted by the Producer (the “First Draft”) and all the scripts Modified by the Scriptwriter upon Modification requests by the Producer as described in the previous paragraph.

4. The Service shall be completed upon the pass in the inspection given by the Producer to the Script.

5. The Scriptwriter may not subcontract the whole or any part of the Service to a third party.

第2項から第4項では、製作会社が、第1稿の内容を踏まえて、企画意図等製作会社の意向を反映させるため、脚本家に対して、第1稿の内容をリライト（修正）させる権利を規定しています。

また、執筆における創意工夫に関しては、脚本家個人の才能等が重要となると考えられるた

め、脚本家自身に対象業務を行わせる必要があること、及び再委託による権利関係の複雑化を防止する観点から、第5項では脚本家による対象業務の再委託を禁止しています。

(協力義務)

第2条 乙は、本脚本の執筆及びリライトに際し、本映画の企画意図、題名、配役、製作条件、上映時間その他脚本作成上の必要な項目につき、甲の指示を尊重し、これに従うものとする。

2 甲は、本脚本を自由に翻案又は変更できるものとし、乙は予めこれを承諾する。

3 乙は、甲からの要請があった場合、甲指定の場所へ行き、打ち合わせ、取材等を行うものとする。

4 前項の打ち合わせ、取材等の対価は第3条第1項 [及び第2項] 規定の対価に含まれるものとするが、それによって乙に生じた旅費、宿泊費等の経費は、合理的な範囲内に限り、別途甲が負担する。

## Article 2. Obligation to Cooperate:

1. In writing and Modifying the Script, the Scriptwriter shall respect and follow the directions of the Producer regarding the intention of the planning, title, casting, conditions of production and running time of the Movie and other items necessary in preparing scripts.
2. The Producer may freely adapt or revise the Script and the Scriptwriter shall accept it in advance.
3. The Scriptwriter shall visit the place designated by the Producer to have meetings, gather information or do other similar acts upon requests by the Producer.
4. The compensations for the meetings, gathering of information and similar acts described in the previous paragraph shall be included in the compensations set forth in Article XX, paragraph XX. The Producer shall separately bear the costs incurred by the Scriptwriter for the above acts such as transportation costs and accommodation costs to a reasonable extent.

第1項は、製作会社が映画製作における内容コントロールを行うための規定であり、企画意図等の製作会社の意向を反映させるため、実際の執筆及びリライトにおいて、脚本家が製作会社の指示に従う義務を定めています。

また、第4条第3項に本脚本の翻案権が製作会社に帰属する旨の規定はありますが、第2条第2項では、映画製作段階において製作会社が内容コントロールを行うため、執筆された脚本を自由に変更できることを明示しています。

第3項及び第4項は、脚本家の打ち合わせ、取材義務及びその費用負担について規定しています。費用負担については、製作会社の要請に応じて脚本家が打ち合わせ等に応じることから、第

3条第1項 [パターンCの場合には第1項及び第2項] で定める脚本料に含まれているとするのはバランスを欠くため、製作会社が負担する規定としています。ただし、負担する経費については、合理的範囲内に限ることとしています。

(脚本料)

[パターンA]

第3条 甲は、乙に対し、本脚本の執筆料、本契約上甲に付与される全ての権利及びその他本契約に基づく一切の対価として、金●●●●万円（消費税込）を、適用される源泉税を徴収の上で、以下の支払方法にて乙指定の銀行口座に振り込む方法で支払うものとする。

(1) 第1稿納入後●●日以内：金●●●●万円

(2) 第1条の業務完了後●●日以内：金●●●●万円

2 本条で定める支払が、乙が本契約に基づき又はこれに関連して得るべき唯一の対価であることを乙は確認する。

[パターンB]

第3条 甲は、乙に対し、本脚本の執筆料、本契約上甲に付与される全ての権利及びその他本契約に基づく一切の対価として、本映画の各利用権行使により甲が受領する収入につき、以下で定める割合の金員（消費税込）を、適用される源泉税を徴収の上で、乙指定の銀行口座に振り込む方法で支払うものとする。

(1) 国内における劇場での上映権行使により甲が受領する全ての収入の●●%

(2) 国内におけるビデオグラム化権行使により甲が受領する全ての収入の●●%

(3) 国内におけるテレビ放送権行使により甲が受領する全ての収入の●●%

(4) 国内における自動公衆送信権及び送信可能化権行使より甲が受領する全ての収入の●●%

(5) 国内における商品化権行使により甲が受領する全ての収入の●●%

(6) 国内におけるその他の利用権行使により甲が受領する全ての収入の●●%

(7) 海外における利用権行使により甲が受領する全ての収入の●●%

2 本条で定める支払が、乙が本契約に基づき又はこれに関連して得るべき唯一の対価であることを乙は確認する。

[パターンC]

第3条 甲は、乙に対し、本脚本の執筆料、本契約上甲に付与される全ての権利及びその他本契約に基づく一切の対価として、金●●●●万円（消費税込）を、適用される源泉税を徴収の上で、以下の支払方法にて乙指定の銀行口座に振り込む方法で支払うものとする。

(1) 第1稿納入後●●日以内：金●●●万円

(2) 第1条の業務完了後●●日以内：金●●●万円

- 2 甲は、乙に対し、本脚本に基づく本映画の各利用権を行使する場合には、前項の対価のほか追加報酬として、本映画の各利用権行使により甲が受領する収入につき、以下で定める割合を、乙指定の銀行口座に振り込む方法で支払うものとする。
- (1) 国内における劇場での上映権行使により甲が受領する全ての収入の●●%
  - (2) 国内におけるビデオグラム化権行使により甲が受領する全ての収入の●●%
  - (3) 国内におけるテレビ放送権行使により甲が受領する全ての収入の●●%
  - (4) 国内における自動公衆送信権及び送信可能化権行使により甲が受領する全ての収入の●●%
  - (5) 国内における商品化権行使により甲が受領する全ての収入の●●%
  - (6) 国内におけるその他の利用権行使により甲が受領する全ての収入の●●%
  - (7) 海外における利用権行使により甲が受領する全ての収入の●●%
- 3 本条で定める支払が、乙が本契約に基づき又はこれに関連して得るべき唯一の対価であることを乙は確認する。

### Article 3. Script-Writing Fees:

[Pattern A]

1. The Producer shall pay the Scriptwriter XXXX thousand yen (consumption tax included) as the fee for writing the Script, all the rights given to the Producer hereunder and all the other compensations hereunder after deducting the applicable withholding tax into the bank account designated by the Scriptwriter, as follows:
  - (1) within XX days after receiving the First Draft: XXXX thousand yen; and
  - (2) within XX days after completion of the service in Article 1: XXXX thousand yen.
2. The Scriptwriter acknowledges that the payment provided in this Article is all the compensation that it shall receive pursuant to and in relation to this Agreement.

[Pattern B]

1. The Producer shall pay the Scriptwriter the amount (consumption tax included) in the following percentages of the income which the Producer receives by exercising each right over the Movie as the fee for writing the Script, all the rights given to the Producer hereunder and all the other compensations hereunder after deducting the applicable withholding tax into the bank account designated by the Scriptwriter:

- (1) XX % of the entire income which the Producer receives by exercising the screening right in theaters in Japan;
  - (2) XX % of the entire income which the Producer receives by exercising the right to put the Movie out on video in Japan;
  - (3) XX % of the entire income which the Producer receives by exercising the right to televise the Movie in Japan;
  - (4) XX % of the entire income which the Producer receives by exercising the right of automatic public transmission and the right to make transmittable in Japan;
  - (5) XX % of the entire income which the Producer receives by exercising the merchandising right in Japan;
  - (6) XX % of the entire income which the Producer receives by exercising the other utilization rights in Japan; and
  - (7) XX % of the entire income which the Producer receives by exercising any utilization rights outside Japan.
2. The Scriptwriter acknowledges that the payment provided in this Article is all the compensation that it shall receive pursuant to and in relation to this Agreement.

[Pattern C]

1. The Producer shall pay the Scriptwriter XXXX thousand yen (consumption tax included) as the fee for writing the Script, all the rights given to the Producer hereunder and all the other compensations hereunder after deducting the applicable withholding tax into the bank account designated by the Scriptwriter, as follows:
  - (1) within XX days after receiving the First Draft: XXXX thousand yen; and
  - (2) within XX days after completion of the service in Article 1: XXXX thousand yen.
2. If the Producer exercises any right to utilize the Movie based on the Script, the Producer shall pay the Scriptwriter the amount in the following percentages of the income which the Producer receives for exercising each right of the Movie as an additional compensation to the one in the previous paragraph into the bank account designated by the Scriptwriter:



- (1) XX % of the entire income which the Producer receives by exercising the screening right over in theaters in Japan;
  - (2) XX % of the entire income which the Producer receives by exercising the right to put the Movie out on video in Japan;
  - (3) XX % of the entire income which the Producer receives by exercising the right to televise the Movie in Japan;
  - (4) XX % of the entire income which the Producer receives by exercising the right of automatic public transmission and the right to make transmittable in Japan;
  - (5) XX % of the entire income which the Producer receives by exercising the merchandising right in Japan;
  - (6) XX % of the entire income which the Producer receives by exercising the other utilization rights in Japan; and
  - (7) XX % of the entire income which the Producer receives by exercising any utilization rights outside Japan.
3. The Scriptwriter acknowledges that the payment provided in this Article is all the compensation that it shall receive pursuant to and in relation to this Agreement.

第1項 [パターンCの場合には第1項及び第2項] は、脚本の執筆料と製作会社に付与される全ての権利の対価を規定しています。対価の支払方法として、① 一括払いによる買い取り（パターンA）、② 本映画の上映権等行使による製作会社の収入の一定割合の支払（パターンB）、③ 一括払いを行った上で、本映画の上映権等行使をした場合、それによる製作会社の収入の一定割合を追加報酬として支払う（パターンC）を個別具体的な事情に応じて決定することになります。

なお、第2項 [パターンCの場合には第3項] は、製作会社の立場から、脚本家から追加請求を受けないようにするための確認規定です。

(権利の帰属)

第4条 本脚本に基づき本映画を製作する権利は、永久的かつ独占的に甲に帰属する。

- 2 本映画の著作権（著作権法第27条及び第28条に定める権利を含む。）は、甲に帰属するものとする。

- 3 本脚本及び本脚本に含まれる内容、文章などの著作権（著作権法第 27 条及び第 28 条に定める権利を含む。）は、永久的かつ独占的に甲に帰属する。
- 4 乙は、本映画及び本脚本の甲その他の者によるあらゆる利用に関し、著作者人格権を行使しないことを約する。[ただし、甲その他の者による利用において、本脚本の変更が合理的な範囲を逸脱している場合はこの限りではない。]

#### **Article 4. Ownership of Rights:**

1. The right to produce the Movie based on the Script shall eternally and exclusively belong to the Producer.
2. The copyright (including the rights set forth in Articles 27 and 28 of the Copyright Act) on the Movie shall belong to the Producer.
3. The copyright (including the rights set forth in Articles 27 and 28 of the Copyright Act) on the Script and on the contents, text, etc. contained therein shall eternally and exclusively belong to the Producer.
4. The Scriptwriter promises not to exercise the moral right of an author in connection with any utilization of the Movie or the Script by the Producer or other parties, [unless the alteration of the Script in utilization by the Producer or other parties exceeds a reasonable extent.]

第 1 項から第 3 項では、本脚本に基づく本映画を製作する権利、本映画の著作権、フィルムなどの所有権及び本脚本関係の著作権が全て製作会社に帰属することを規定しています。

第 4 項は、著作者人格権の不行使特約の規定です。なお、同項の但書は、個別具体的な事情に応じて、変更が合理的な範囲を逸脱している場合に行使可能とする場合の規定です。

(クレジット)

第 5 条 甲は、本脚本を使用して本映画を製作した場合、本映画のエンドロール等甲が適当と認める場所に、乙の氏名を表示するものとする。

#### **Article 5. Credit:**

If the Producer produces the Movie by using the Script, it shall display the name of the Scriptwriter in the place which the Producer finds appropriate such as the credit roll of the Movie.

第 5 条では、本脚本を使用して本映画を製作した場合、脚本家の氏名を表記することを規定しています。ここでは、製作会社が脚本家の氏名を表示する場所を決めることとしており、脚本家から表示場所や表記方法についての要請はできないこととしています。

(知的財産権を侵害しないことの保証)

第6条 乙は甲に対し、本脚本が第三者の知的財産権、実存の人物のプライバシー権、名誉権(名誉感情を含む)、パブリシティの権利若しくはその他人格権又はその他第三者の権利を侵害していないことを保証する。

#### **Article 6. Guarantee of Non-Infringement of Intellectual Property Rights:**

The Scriptwriter shall guarantee to the Producer that the Script does not infringe the intellectual property right of a third party, the right to privacy, right to protect honor (including honorary sentiments), publicity rights or any other moral right of a real person, or any other right of a third party.

(救済方法の制限)

第7条 甲によって本契約の違反があった場合にも、乙の法的救済は損害賠償請求権に限られるものとし、本映画の製作・上映等の差止請求権の行使はなしえないものとする。

#### **Article 7. Restriction of Remedy:**

Even if the Producer breaches this Agreement, the legal remedy of the Scriptwriter is limited to the right to seek compensation for damage. The Scriptwriter may not exercise the right to demand an injunction of any use of the Movie, including, but not limited to, the production and screening.

脚本家が著作者人格権に基づき差止請求を行い、実際に本映画の使用収益行為の差止が認められてしまうと、サブライセンスをしている場合などには、債務不履行に直結して重大な影響を受ける可能性があるため、第7条では、予め差止請求の不行使の合意を規定しています。

(権利義務の譲渡)

第8条 甲は、本映画を製作するに際し、本契約に基づく業務、契約上の地位、権利又は義務の一部又は全部を第三者に譲渡、再許諾、担保設定又はその他あらゆる形態で処分することができる。

2 乙は、甲からの事前の書面による同意なしに、本契約に基づく権利又は義務の全部もしくは一部を、第三者に譲渡し又は担保に供することはできないものとする。

#### **Article 8. Assignment of Rights and Obligations:**

1. In producing the Movie, the Producer may assign, sublicense or grant security to its services hereunder or its positions, rights or obligations hereunder in whole or in part to third parties or dispose of the same in any manner.
2. The Scriptwriter may not assign or grant security to its rights or obligations hereunder in whole or in part to third parties without a prior written consent of the Producer.

第1項では、製作会社が、資金調達のため、映画著作権を担保目的で譲渡したり信託しなければならない場合があることから、譲渡等について可能としています。他方で、第2項は、脚本執筆は脚本家の個人的な才能によるところが大きく、最終的な脚本の完成度に影響するため、脚本家による本契約から生ずる権利義務の譲渡を禁止しております。

(秘密保持)

第9条 本契約期間中及び本契約終了後●●年間、取引関係を通じて、一方当事者（以下「開示当事者」という。）が他方当事者（以下「受領当事者」という。）に対して、営業上又は技術上の一切の秘密情報を開示した場合、受領当事者は、事前に開示当事者の書面による承諾を得ることなく、第三者に漏えい又は示唆してはならないものとする。

2 前項の規定は、次の各号に規定する情報には適用されないものとする。

- (1) 開示当事者から開示された時点で既に公知となっている情報
- (2) 開示当事者から開示された時点で受領当事者が既に保有している情報
- (3) 開示当事者から開示された後、受領当事者の責によらず公知となった情報
- (4) 開示当事者に対して秘密保持義務を負わない正当な権原を有する第三者から、受領当事者が秘密保持義務を負うことなく適法に入手した情報
- (5) 受領当事者が独自に開発した情報

#### **Article 9. Confidentiality:**

1. If either party (the “Disclosing Party”) discloses any confidential information on operation or technology to the other party (the “Receiving Party”) through the transactional relationship during the term of this Agreement or XX years following the termination of this Agreement, the Receiving Party shall not divulge or suggest such information to third parties without obtaining prior written approval of the Disclosing Party.
2. The provision in the previous paragraph shall not be applied to:
  - (1) information which has already become part of the public domain at the time of the disclosure by the Disclosing Party;

- (2) information which has already been owned by the Receiving Party at the time of the disclosure by the Disclosing Party;
- (3) information which becomes part of the public domain through no fault of the Receiving Party after the disclosure by the Disclosing Party;
- (4) information which the Receiving Party obtains lawfully, without having the confidentiality obligation, from a third party which has a legitimate title to be exempted from the confidentiality obligation to the Disclosing Party; or
- (5) information which the Receiving Party develops on its own.

(解除)

第 10 条 天災地変、悪疫流行、法律命令、行政措置、労働争議、その他不可避的な事由によって、甲の映画製作が不能に陥ったときは、甲は本契約を解除することができる。

2 甲及び乙は、相手方が次の各号の一に該当した場合は、何らかの通知催告を要せず、直ちに本契約を解除できるものとする。

- (1) 支払停止又は支払不能となったとき
- (2) 手形又は小切手が不渡りとなったとき
- (3) 差押え、仮差押え若しくは仮処分があったとき又は競売の申し立てがあったとき
- (4) 破産手続開始、会社更生手続開始又は民事再生手続開始の申し立てがあったとき
- (5) 解散又は営業の全部若しくは重要な一部を第三者に譲渡しようとしたとき
- (6) 本契約に違反し、当該違反に関する書面による催告を受領した後●●日以内にこれを是正しないとき

#### **Article 10. Termination:**

1. If the movie production by the Producer becomes impossible due to an act of God, epidemic, legal order, administrative measure, labor dispute or any other unavoidable event, the Producer may terminate this Agreement.
2. Each of the Producer and the Scriptwriter may immediately terminate this Agreement without any notice or demand if the other party falls under any of the following items:
  - (1) if it stops payment or becomes insolvent;
  - (2) if its bills or checks are dishonored;

- (3) if it is subject to seizure, provisional seizure or provisional disposition or if a petition for auction has been filed against it;
- (4) if a petition for commencement of bankruptcy proceedings, corporate reorganization proceedings or civil rehabilitation proceedings has been filed against it;
- (5) if it tries to dissolve itself or to assign all or important parts of its operation to third parties;  
or
- (6) if it breaches this Agreement and does not remedy it within XX days after receipt of a written demand regarding the breach.

(裁判管轄)

第 11 条 本契約又はこれに関連する事項に関して生じた甲乙間の紛争については、●●地方裁判所を専属管轄裁判所とする。

**Article 11. Jurisdiction:**

The XXXX District Court shall have an exclusive jurisdiction over conflicts between the Producer and the Scriptwriter arising out of this Agreement or issues related thereto.

本契約締結の証として、本書 2 通を作成し、甲乙記名又は署名捺印のうえ各 1 通を保有する。

20●●年●●月●●日

(甲) 《住所を記載》  
《企業・団体名を記載》  
《代表者役職・氏名を記載》

(乙) 《住所を記載》  
《企業・団体名を記載》  
《代表者役職・氏名を記載》

**IN WITNESS WHEREOF**, the parties hereto have executed this Agreement in duplicate by placing their signatures and seals thereon, and each party shall keep one copy of the originals.

[mm/dd/yyyy]

PRODUCER

SCRIPTWRITER

Address: \_\_\_\_\_

Address: \_\_\_\_\_

By: \_\_\_\_\_

By: \_\_\_\_\_

Nmae: \_\_\_\_\_

Nmae: \_\_\_\_\_

Title: \_\_\_\_\_

Title: \_\_\_\_\_